

「旧アルバム」より～

昭和初期の写真③『東京府発注の橋』

東京鐵骨橋梁は、1928年(昭和3年)から橋梁部門に進出しますが、その初期に東京府内で携わった橋をいくつか紹介いたします。

ちなみに、東京府は現在の東京都の前身で、1868年(明治元年)から1943年(昭和18年)まで存在しました。



大崎橋

受注: 1929年(昭和4年)

工事場所: 品川区大崎、目黒川

規模: 27.9m × 21.9m

型式: 鋼ラメンプレートガーダー



54A橋

受注: 1930年(昭和5年)

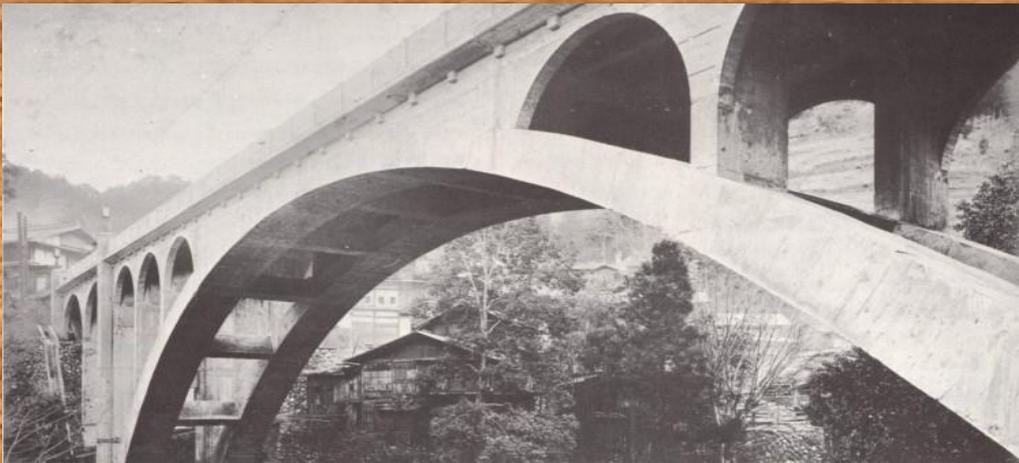
工事場所: 中央区八丁堀、桜川

規模: 44m × 11m

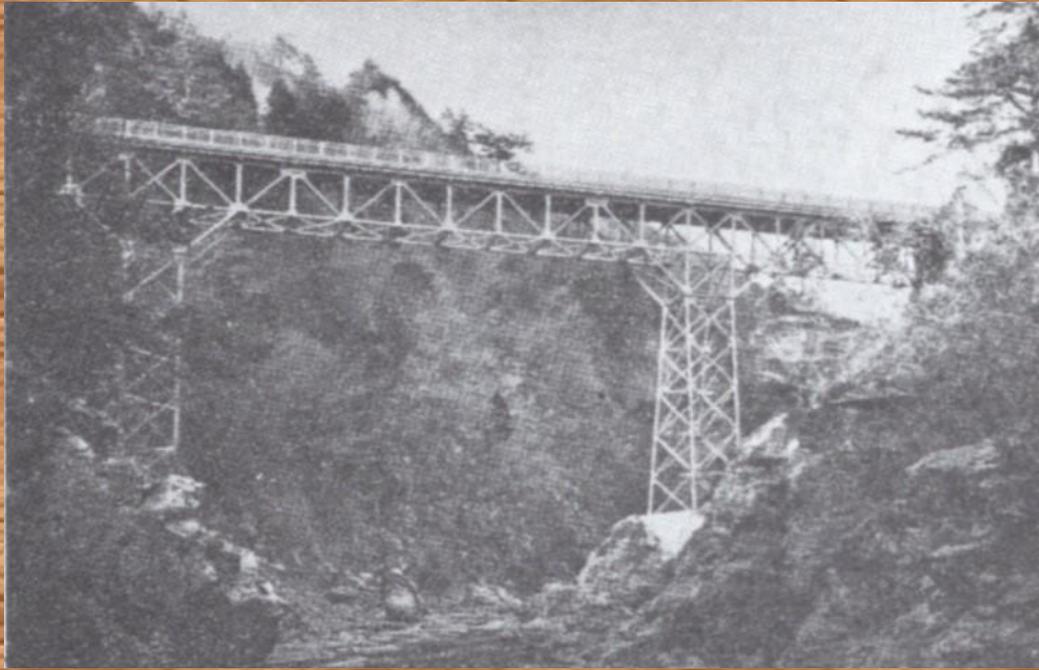
型式: 連続トラス橋



笹平橋
受注: 1932年(昭和7年)
工事場所: 奥多摩町、多摩川
規模: 54.3m × 4.5m
型式: 鋼上路2ヒンジトラスドリブ三角型ラーメン橋



氷川大橋
受注: 1932年(昭和7年)
工事場所: 奥多摩町、日原川
規模: 83.9m × 6.3m
型式: メラン式上路固定オープンアーチ橋



弁天橋
受注: 1932年(昭和7年)
工事場所: 奥多摩町、多摩川
規模: 66.4m × 4.5m
型式: 鋼H型ラメントラス橋



調布橋
受注: 1934年(昭和9年)
工事場所: 青梅市、多摩川
規模: 103.3m × 6.5m
型式: 鋼中路2ヒンジブレースドリブアーチ橋